

令和06年3月（第1回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 木村 冬樹 議員

- 1 能登半島地震からどのような教訓を引き出すか
 - (1) 建物の倒壊、道路の寸断、連動した火災の発生、ライフラインの復旧の遅れなど、能登半島地震の被害状況をどのように捉えているか。
 - (2) 避難所の運営やトイレ・食事・睡眠スペースの確保など、自主防災会と連携した、より具体的な防災訓練を行うべきではないか。
 - (3) 政府の対応待ちではなく、地域防災計画・地震災害対策計画編の見直しを早急に進めるべきではないか。
- 2 自衛官募集にどのように対応していくのか
 - (1) 自衛隊愛知地方協力本部の情報提供を求める動きは例年通りのスケジュールなのか。
 - (2) 情報提供の除外申出の周知をどのように行っていくのか。
- 3 地域公共交通をどのように確保していくのか
 - (1) ライドシェア解禁の動きをどのように考えているのか。
 - (2) ふれ愛タクシー事業に対する市民の声にどのように応えるのか。
 - (3) 地域公共交通調査をいつ実施するのか。
- 4 政府の「少子化対策」をどのように考えているのか
 - (1) 「こども・子育て支援金制度」は実質的に増税ではないか。
 - (2) 「こども誰でも通園制度」を保育現場ではどのように受け止めているのか。
- 5 高齢者が安心して暮らせる地域社会を求めて
 - (1) 認知症高齢者向けのGPSの普及状況はどうか。
 - (2) 携帯電話対応で緊急通報システム管理事業はどのように変わっていくのか。
 - (3) デジタル技術の活用と個人の尊厳とのバランスをどのように考えているのか。

2 日比野 走 議員

- 1 五条川小学校にて実施されている自己調整タイムについて
 - (1) 自己調整タイムを実施する運びとなった経緯は。
 - (2) 岩倉市内の五条川小以外の小学校でも実施できないか。
- 2 岩倉市マンション管理適正化推進計画について
 - (1) 岩倉市マンション管理適正化推進計画とはどのようなものか。

- (2) これまで、本計画に基づいて行われていた活動はどのようなものがあるか。
- (3) 今後、本計画に基づいて行われる活動にはどのようなものがあるか。
- (4) 所沢市のマンション管理適正化推進条例に倣った取組を。

3 NFTについて

- (1) これまで岩倉市でNFTに対して何かしらの関わりは持っていなかったか。
- (2) 将来に向けて、NFTを用いた事業計画を検討してみてもどうか。

3 梅村 均 議員

1 災害時における長期収容が可能な避難所のトイレ対策は十分か

- (1) 災害時の避難所におけるトイレの必要性の考えは。
- (2) 停電時や断水時でもトイレが使用できる避難施設はあるか。
- (3) とりわけ多くの人数を収容できる市内小中学校や総合体育文化センターの常設トイレの仕組みはどのようなか。また、避難所としてのトイレ対策の現状は。
- (4) 災害に強いまちづくりの観点からすると下水道より浄化槽ではないか。
- (5) 仮設トイレの設置や浄化槽くみ取りの災害応援協定があるとよいのではないか。
- (6) 簡易トイレや携帯トイレなど各家庭でもできるトイレへの備えの啓発を。(静岡県三島市)

2 市内事業所が減少している状況が見られるが、創業支援の商工振興策が不足しているのではないか(拡充すべきでは)

- (1) 本市の商工振興の狙いは。
- (2) 総合計画評価シートより事業所数の減少が見られるが、現状をどう見ているか。
- (3) 現状、取り組んでいる創業支援策と成果は。
- (4) 静岡県焼津市での商工業振興策(チャレンジショップ、内外装改修補助、家賃補助、住居店舗の分離改修補助)の取組を参考にできないものか。
- (5) 空き家バンクに店舗情報も加えてできないか。
- (6) 類似団体との比較や高崎市・焼津市や近隣市町と比較して、岩倉市の商工費の歳出割合は適切か。

4 水野 忠三 議員

1 本市の山車文化に関連して問う

- (1) 山車文化に関係する本市の施策等について、現状及び課題認識は。
- (2) 本市の山車文化は「400年の歴史がある」と言われることがあるが、認識は。
- (3) ふるさと納税や観光振興のPRなどの際にも「400年の歴史」という観点をさらに積極的に利活用できないか。
- (4) 他の自治体における取組事例等について、認識は。

- (5) 山車400周年などを祝うイベント、行事等の開催などを通して、本市の山車文化をさらに盛り上げていくべきと考えるが、見解は。
 - (6) 今後の山車文化のさらなる発展について問う。
- 2 国が進める「保育所手続きのオンライン化」に関連して問う
- (1) 保育園の見学予約や入園申請の手続き等について、本市の現状は。
 - (2) こども家庭庁が進める、保育所手続きのオンライン化について、認識は。
 - (3) 国が構築するデータベース及びマイナンバーカードとの連携などについて、認識は。
 - (4) 本市における導入の可否、予定等について、見解は。
 - (5) 親の保育所手続き等の負担をさらに軽減するための今後の取組は。
- 3 給食費の徴収等に関連して問う
- (1) 本市の小中学校における給食費の徴収・管理について、現状は。
 - (2) 給食費の徴収・管理を学校ではなく自治体が一括して行う「公会計化」について、認識は。
 - (3) 給食費の徴収等に関する、最近の国や愛知県の方針や動向はどうか。
 - (4) 給食費以外の学校への納入金などについてはどうか。
 - (5) 給食費の公会計化を通して、「学校が徴収・管理する費用全体の公会計化を進めていくべき」と考えるが、見解は。
 - (6) 教員の負担軽減や（将来的には）給食費の完全無償化等も見据えた上で、本市の今後の方針は。
- 4 国の少子化対策に関連して問う
- (1) 本市における少子化について、現状認識は。
 - (2) 児童手当の所得制限撤廃などによる本市への影響は。
 - (3) 両親が共に14日以上の子育て休業を取った場合などの際の育休給付に関する本市の実務等は。
 - (4) 親の就労に関係なく子どもを預けられる「こども誰でも通園制度」について、認識は。また、本市への同制度の導入等について、見解は。
 - (5) 公的医療保険料に上乗せして「こども・子育て支援金」を徴収することに関する本市の実務等は。
 - (6) 今後の本市の少子化対策及び子ども・子育て支援について問う。
- 5 「幸福度」に基づく行政、施策立案等について問う
- (1) 生活の満足度や幸福感に関連して、「ウェルビーイング」という言葉について、認識は。
 - (2) 幸福度指標について及び同指標を導入・活用している自治体例について、認識は。
 - (3) 本市においても主要施策等の評価や計画・施策等の立案等で幸福度指標を導入・活用できないか。

- (4) 本市がさらに幸福度の高いまちを目指していくために、今後の取組等について問う。

5 伊藤 隆信 議員

1 南海トラフ巨大地震について

- (1) 能登半島地震の災害の状況は、想定外の被害になっているが、改めて本市の危機管理体制を問う。
- (2) 南海トラフ地震は、2014年に防災対策推進基本計画を策定して、被害を減らす目標を掲げて10年が経過したが、今後、新たな被害想定と改定した基本計画が公表されるが、状況を問う。
- (3) 最大震度7を観測し、被害が拡大している能登半島地震、国は南海トラフ地震の被害想定をマグニチュード9の地震が発生した場合として考えているが、本市の被害想定を問う。
- (4) 南海トラフ地震が発生した場合の本市の消防、救急体制を問う。
- (5) 能登半島地震では断水等により、市民生活に大きな影響が出ているが、電気、ガス、水道、公共交通関係、通信インフラなど、インフラ関係の被害の修復体制を問う。
- (6) 本市の津波による被害を問う。
- (7) 本市の建物の耐震化の現状と地盤が弱い地域の液状化の現状と対策を問う。
- (8) 地震災害によって大きな被害が出た場合、仮設住宅は想定しているのか。

2 交通安全環境の整備について

- (1) 農地の雑草は、歩行者や車等にとって視界が悪く、危険ではないか。
- (2) 道路にはみ出して駐車している車の対策を問う。
- (3) 車の車庫証明の現状を問う。
- (4) 軽自動車が増えている中、軽自動車の車庫証明は必要ではないか。
- (5) 自転車の事故が多いが、その原因を問う。
- (6) 横断歩道の自転車の通行ルールが守られていないのではないかと問う。
- (7) 昨年からは自転車用ヘルメット購入費の一部の補助が始まったが、現状と市内の自転車を利用する人の多くがヘルメットを着用していない状況だが、今後の対策を問う。
- (8) 高齢者の方が横断歩道を渡らず、道路を横切り、事故になるケースが多いが対策を問う。

3 農業について

- (1) 昭和の時代に本市の農地は、土地改良を行い、それによって大きく市が発展してきたが、本市の土地改良の現状と今後の都市基盤整備について問う。
- (2) 近隣市の土地改良の進捗状況を問う。

- (3) 岩倉市の土地改良25年のあゆみの記念誌の表紙に「磐座を拓く」とあるが、この表題のいわれを問う。
- (4) 岩倉の面積10.47平方キロメートルの土地内訳を問う。
- (5) 農業従事者の高齢化対策を問う。
- (6) 地産地消型農業の取組を問う。
- (7) 川井町折屋敷の開発について問う。
- (8) 第5次岩倉市総合計画で農業の農地の保全・活用の施策がめざす将来の姿として、担い手農家による安定した農業経営が営まれており、農地が適正に保全されているとしているが、現状を問う。
- (9) 耕作放棄地の現状と課税について問う。
- (10) 荒れた農地を雑種地として課税の検討について問う。

6 谷平 敬子 議員

1 認知症施策について

- (1) 認知症初期集中支援チームの役割と活動状況はどのようなか。
- (2) 認知症サポーター養成講座の開催数と受講者数はどのようなか。
- (3) 認知症簡易チェックシステムを導入してはどうか。
- (4) 本人ミーティングの開催を求む。
- (5) 「ユマニチュード」の考えを取り入れてはどうか。

2 AEDボックスに三角巾の導入を

- (1) AEDを使用すると、どのくらい救命率が上がるか。
- (2) 無料アプリの救命サポーター「teamASUKA」を、救命の応急手当の普及啓発に活用してはどうか。
- (3) AEDボックスに三角巾の導入を求む。

3 子供の目の健康について

- (1) 小中学生の視力低下の現状はどのようなか。
- (2) 目を守るための対策はどのようなか。
- (3) 学校で目の健康体操を取り入れてはどうか。

7 堀江 珠恵 議員

1 新型コロナワクチン接種による健康被害関連について

- (1) 現在の救済制度申請数及び相談件数は。
- (2) 愛知県では新型コロナワクチン副反応等見舞金制度があるが対象者は。
- (3) 救済制度の周知がもっと必要だと考えるが、健康被害救済制度のみをホームページの特設ページとして開設することは可能か。

- (4) これから健康被害が広がる可能性も十分考えられ、ワクチン接種された方のカルテの保存期間の延長、または永久保存はできないか。

2 キャリア教育について

- (1) 現在、小学校・中学校では具体的にはどのようなことをしているのか。
- (2) 職場体験は主にどんな職業に行くことが多いのか。
- (3) キャリアコンサルタントに月1回、もしくは週1回来ていただくことはできないだろうか。

3 離乳食について

- (1) 離乳食教室は前期と後期だけになっているのか。参加状況はどうか。
- (2) 離乳食の進め方で困った場合、どのように対応をしているのか。
- (3) 栄養士に相談しにくい場合もあり、ホームページに教室で渡す資料などを分かりやすく掲載してみてもどうか。

8 塚崎 海緒 議員

1 能登半島地震緊急消防援助隊二次隊について、なぜ岩倉市だけ出動できなかったか

- (1) 一次隊と二次隊の出動要請をいつ受けたか。
- (2) 一次隊出動判断は、いつ・誰がしたか。
- (3) 消防庁や県からどのようなお願いがあったか。
二次隊（救急3）断念判断は、いつ・誰がしたか。
- (4) 一次隊の後すぐ二次隊の要請が来ることを、想定していたか。
- (5) 岩倉市だけ出動できない理由は何か。
- (6) 速やかに判断された三次隊出動判断は、いつ・誰がしたか。
- (7) 一次隊から三次隊までの間、判断した者は、判断できる状況だったか。
- (8) 通知から出動判断までの動きはどのようなか。

2 熱海市伊豆山土石流災害の緊急消防援助隊について

- (1) 一次隊以降の派遣をしなかったのは事実か。
- (2) 理由は何か。

3 消防法に基づく消防力の確保について

- (1) 緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用し車両を購入しているが、一次隊の出動要請で役割が果たせているか。
- (2) 市長のフェイスブック投稿に岩倉市での消防体制維持が困難であったとあるが、平時から、緊急消防援助隊派遣を想定していないのか。
- (3) 休職や退職で、3月末まで人員不足であることを確認しているが、場当たりの対応策ではないか。

- (4) 令和6年度予算で緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用した車両購入が検討されているが、今後どのように緊急援助隊派遣をしていくか。
- (5) 1日も早くハラスメント対策を強化し消防力確保を。市長の姿勢を問う。

9 井上 真砂美 議員

- 1 都市計画道路一宮春日井線の東への延伸進捗状況について
 - (1) 小牧市の動きはどのようなか。
 - (2) 道路の整備状況はいかがか。
 - (3) 岩倉市都市計画マスタープラン「産業系拡大検討ゾーン」の開発にどのような影響が想定されるか。
 - (4) 岩倉市の一宮春日井線延伸についての方針をお聞きしたい。
- 2 岩倉歴史講演会 下田南遺跡発掘調査結果報告会「古代官衙遺跡と五条川 発見された大型建物群が伝える風景」について
 - (1) 報告会に参加した方々の反応はおおむね好評であったと思われるが、どのように評価しているのか。
 - (2) 他市からの反応はいかがか。
 - (3) 東につながる薬師堂廃寺跡や五条川と関連付けてどのように評価しているのか。
- 3 下田南遺跡出土品について
 - (1) 円面硯の蹄脚円面硯A分類とはどのようなものか。
 - (2) 価値をどのように評価しているのか。
 - (3) 勾玉（まがたま）や巡方、鉄製品の価値をどのように評価しているのか。
 - (4) 岩倉のシビックマインド（魅力）としてどのように培っていくのか。
- 4 下田南遺跡発掘調査の経過や遺構・遺物の活用について
 - (1) 今後、どのように活用していくのか。
 - (2) 発掘の経過記録として、バーチャル映像や一つの映像（磁氣的記録媒体）としてまとめてはいかがか。
 - (3) まとめた映像を学校教材として活用してはいかがか。
- 5 井上会館南の「五条川小学校区統合保育園予定地」について
 - (1) 遺跡発掘の計画はどのようなになっているのか。
 - (2) 発掘作業員の募集はあるのか。
 - (3) 他の文化財とも合わせて、岩倉市の文化の拠点にしてはどうか。